

# いわた IWATA 市議会だより

平成 25 年

2013

9月1日発行

No.42

発行／磐田市議会 磐田市国府台3-1 <http://www.city.iwata.shizuoka.jp/>  
 編集／議会報編集委員会 電話(0538)37-4822 ファックス(0538)37-4845(議会事務局)



## 「ゆるキャラグランプリ2013」1位獲得を目指して

7月27日に開催された「いわたジュビロード夏祭」において、磐田市イメージキャラクター「しっぺい」のアニメーションと踊りが披露されました。これは、しっぺいの「ゆるキャラグランプリ2013」1位獲得を目指して作成されたものです。当日は、練習を重ねた中泉地区の幼稚園・保育園児約300人が、歌詞に合わせて会場の皆さんと楽しく踊りました。

## 6月定例会

市議会は、平成25年6月定例会を6月13日から7月11日までの29日間の会期で開催しました。今議会では、市長提出の25年度一般会計補正予算など10議案について慎重に審議しました。その結果、いずれも原案のとおり可決・同意しました。また、議会推薦の農業委員会委員等を決定しました。

なお、市長の所信表明に対する代表質問は、6月20日に各会派を代表して5名の議員が、一般質問は、6月20日、21日、24日の3日間にわたり14名の議員が行い、市政のあらゆる分野から市長・教育長の考えをただしました。

## 主な内容 (ページ)

- 市長の所信表明に対する代表質問 (5会派) …… 2～3
- 一般質問 (14名) …… 4～9
- 子ども・子育て会議条例の制定 (説明・討論) …… 9
- 議会報告会の開催、審議結果、9月定例会の予定 …… 10

# 市長の所信表明に対する代表質問

6月定例会初日に行われた市長の所信表明に対し、各会派の代表者5名が代表質問を行いましたので、その主な質問、答弁内容をお知らせします。

## 財政

**【質問】** 本市が、本当に危機的財政状況だったのか伺う。また、「財政の建て直し」が、実質2年半でめどがつき」と述べているが、具体的説明を。(共)

**【答弁】** 就任当初は、市税等の自主財源が減少し、多額の借入金等が必要となるなど、危機的な状況であった。すべての事業を見直し、優先順位をつけて実施するなど組織を挙げて取り組んだ結果、23年度半ば過ぎから本市発展のための次年度予算が確保できる見込みが立つなど、財政運営にめどがついてきていると思う。

**【質問】** 交付税・臨時財政対策債について見解を伺う。(き)

**【答弁】** 普通交付税は、特例措置の合併算定替が32年度に終了となり、33年度は24年度と比べ、30億円以上の減額になる試算である。臨時財政対策債は普通交付税として交付されるべきものが借金に振りかえられたもので、全額が後年度の普通交付税交付額の算定に加算される。足腰の強い財政基盤を維持するためには、普通交付税の特例措置終了後

も、持続可能で、できるだけ借金に頼らない財政運営が必要であると思っている。

**【質問】** 臨時財政対策債の計画等、今後の見通しは。(新)

**【答弁】** 今後も国の地方財政対策は、臨時財政対策債の発行に頼らざるを得ない状況が続くと判断している。臨時財政対策債は、一般会計の歳入を構成する貴重な財源であるが、借金であることに変わりはないため、今後も全体の収支状況を勘案し、可能な範囲で借入額の抑制に努めていきたい。

**【質問】** 人口減少や高齢化社会等を勘案し、今後の予算規模をどう考えているのか。(新)

**【答弁】** 福祉施策等を充実させていく必要がある一方で、現役世代の減少による税収等の減額も見込まれる。予算規模は、普通交付税での約30億円の財源措置がなくなった後も、過度に財政調整基金に頼らず編成できる規模が望ましい。

## 安全・安心なまち

**【質問】** 防潮機能を強化する自転車道のかさ上げについて説明を。(志・共・き・公)

**【答弁】** 遠州灘海岸と並行する

自転車道のかさ上げは、多重防御による津波対策の一つの手法として有効と考



えるので、今後、天竜川以東の袋井市、掛川市、御前崎市と連携して、国・県に要望していきたい。

**【質問】** 津波等の危険性が予想されるエリアに立地する、病院や学校等の事前移転の考えは。(志)

**【答弁】** 災害拠点病院である市立総合病院は、津波対策を講ずべき施設ではない。学校施設は、県基準以上の耐震化を進め、沿岸部3校には外階段及び屋上フェンスを設置し、地震・津波対策を講じてきた。

今後、市全体の学校施設について将来的な更新計画の検討が必要となるため、安全・安心を第一に考えていきたい。

**【質問】** 原子力災害対策、災害医療体制の充実について具体的な説明を。(共・公)

**【答弁】** 原子力災害対策は、広域避難計画を含む地域防災計画原子力災害対策編の修正、30キロ圏外への安定ヨウ素剤の配備等を考えている。災害

## 地域の経済・産業の活性化

**【質問】** 新たな工業団地開発は重要な課題だが、考えは。(志)

**【答弁】** 次の開発候補地としては、遠州豊田パークキングエリア周辺が挙げられる。工業団地等の開発による企業誘致は、働く場の確保や税収増につながる大変重要なことと考える。

**【質問】** 新エネルギー開発について、太陽光発電を含めた市の目標と、企業を含む市全体の消費電力の対応は。(き)

**【答弁】** 家庭用太陽光発電売電の目標を4800世帯とし、28年度までの達成を目指して取り組んでいる。24年度は、市



内の家庭・事業所の消費電力量のうち、約4%が太陽光発電等の新エネルギーにより賄われていると試算される。民間事業者への太陽光発電設備の補助により、地域産業の活性化を図るとともに、温室効果ガスの排出量削減を推進している。

地域づくり

**質問** これからの道路行政の考え方について伺う。(新)

**答弁** 重点施策に関連した必要最小限の整備や、緊急輸送路、避難路等に関連する施設の耐震補強、地域に密着した地元要望工事、適切な長寿命化対策など、本当に必要な施設整備を適正に実施したい。

**質問** 全体のバランスのよいまち、安心・安全のまちには広域化がキーとなると思うがどうか。また、広域化には何が最もベースとなるか。(新)

**答弁** 医療や消防等、基礎自治体単独では解決が困難な事務を、効果的に行うために広域連携は必要である。しかし、大規模災害時は近隣市町との連携が機能しないことも予想されるため、被害想定が違い

かつ同時に被害に遭う可能性が低い地域との災害時応援協定の締結を進めてきた。広域支援には顔の見える関係が重要な課題であり、今後も良好な関係づくりに努めたい。

**質問** 公民館とコミュニティセンターなどの地域活動拠点施設の一元化等の考え方は。(共・き・公)

**答弁** 公民館やコミュニティセンター等を新たな地域の活動拠点として一元化し、使い勝手のよい施設に再構築する。25年度に関係団体等の代表者による意見交換会を開催し、検討を進めていく。両施設のいいところを足して、名前も別の名前とし、27年4月1日から正式にスタートしたい。

**質問** 児童発達支援センターの新設について伺う。(志・新・共・公)

将来を担う  
子供たちへの支援



豊田コミュニティセンター

**答弁** 発達支援センター「はあと」の機能強化を図り、早期に療育訓練が受けられるよう、医療的な支援が必要な児童が利用できる児童発達支援事業所を、10月から「はあと」の横に開設する準備を進めている。

**質問** 待機児童対策における多様な保育ニーズへの効果的対応を伺う。(公)

**答弁** 少子化の進展等により、保護者の保育ニーズはますます多様化していく。認定こども園には、地域における子育て支援や相談機能も課せられており、今後は幼保の再編を進める中で、施設を問わず地域全体で子育てを支えていく必要があると考える。



「はあと」における相談事業

福祉・支えあい

**質問** 地域無償運送の具体的な説明を。(志・共・き)

**答弁** 通院や買い物など、自立した生活が困難な高齢者等に対し、これらの課題を地域

住民みずから解決しようとする活動に支援をするものである。地域住民組織が主体となり、組織の設立・運営から運行、車両管理までの業務全般を行い、市は車両貸与等の支援を予定している。

**質問** 在宅医療・介護の課題に対する考えと今後の取り組みを伺う。(新)

**答弁** 必要なときに必要な医療や介護を受けられることの確保が大きな課題である。医療及び介護関係者による在宅医療連携ワーキング会議や、市立総合病院の在宅医療連携勉強会を継続して、課題を共有し、解決に取り組むことで、協力関係を築いていきたい。在宅医療・介護を円滑に進めるには、市民の理解が不可欠であり、出前講座などで病気の知識や予防等を学んでいただくよう働きかけたい。



行財政改革

**質問** 公共施設白書策定における政策決定の手順、情報開

示の見解を伺う。(き)

**答弁** 策定作業を進めながら、部局長ミーティングで協議、検討し、政策会議、部課長会を経て決定する予定である。議会には議員懇談会等で報告していきたい。

**質問** 公共施設白書の構成内容及び活用方法は。(志・公)

**答弁** 構成内容は本市の現状紹介から始まり、対象施設の現状を整理・分析し、将来的な維持・更新コストを推計しながら、それらの支出が市財政に及ぼす影響を検討する。最終的には公共施設の現状と課題を整理し、問題解決に向けた必要な取り組みの方向性をまとめる。活用方法は、将来の適正配置等を検討する基本資料としたい。

会派名略称の説明

- 志 … 志政会
- 新 … 新磐田
- 共 … 日本共産党磐田市議団
- き … きずなの会
- 公 … 公明党磐田

# — 市政を問う — 一般質問(要旨)

## 本市の農業振興

志政会 室田 大 議員 (一括質問)

**【質問】** 農業者の育成支援について課題と対策を伺う。

**【答弁】** 24年度、地域雇用創造推進事業を活用し、やる気のある若手農業者に対して講演会、ワークショップ等を開催し、現状の農業に関する課題把握や意識向上を図った。



結果はまだ出ていないが、今後ハード・ソフト両面で支援していきたい。また、今後はより多くの新規就農者の確保が課題となるが、国の青年就農給付金事業を活用し、青年の就業意欲の喚起、就農後の定着及び営農拡大への協力を積極的に続けていく。

**【質問】** 農業の企業化について現状と今後の取り組みは。

**【答弁】** 24年度末時点で、本市では24の農業生産法人が登録されている。今後も、法人化

を志向する農業者からの相談に対しては、設立を支援していく。また、21年に農地法が改正され、一般法人の農業参入が可能になった。

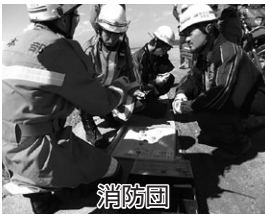
企業が持つ資力や人材などが生かされる可能性は十分あると考えている。現在、市内企業約450社に対し、本格的な参入

## 地域防災活動

志政会 細谷修司 議員 (一括質問)

**【質問】** 消防団の再編について消防団との協議の進捗状況は。

**【答弁】** 6月に示される第4次地震被害想定を踏まえ、本市の実態に合った精強な消防団にすることを基本として、現在、消防団内部で検討さ



消防団

れている。その中で、充実させるべきものがあれば、充実をしようと考えている。公共施設の見直しの中で、詰所の問題も把握しており、団が再編された後、できるだけ速やかに計画性を持って、改築をしてい

や福利厚生的な活用についてアンケート調査を行っており、意向の把握や参入する上での問題点などを調査している。

**【質問】** 農作物のブランド化や6次産業化への取り組みは。

**【答弁】** 6次産業化は、資金や販路の確保に大きな課題があり、なかなか決定力を見いだせないのが現状である。25年度、市が生産者と協働で行っているパッケージデザイン事業も、ブランド化を高める方策の一つであり、このような事業をきっかけに、やる気のある生産者の意欲をさらに高め、成功事例を創出できるように、関係機関と連携し支援したい。

こうと思っている。

**【質問】** 再編後の消防団組織の概要を伺う。

**【答弁】** 海岸地域、山間地域及び同一方面隊内でも、人口の密集度が異なる地域など、さまざまな環境の違いを有することから、地域の実態に合った再編になると考えている。

**【質問】** 津波避難時における消防団の活動時間を限定するルールを検討状況は。

**【答弁】** 現在想定されている津波の場合は到達時間が短く、活動時間自体を設定することが困難であることから、まずは消防団員自身の生命の安全を最優先とし、あわせて地域

住民の避難・誘導を行うことを基本としている。

**【質問】** 自主防災会訓練時の事故等への補償対応と、市民への周知は。

**【答弁】** 市が実施している防災訓練の事故に備え、防火防災訓練災害補償等共済及び全国市長会市民総合賠償補償保険に加入している。24年度に参加者が足を打撲した事故は、市民総合賠償補償保険で対応した。総合防災訓練や地域防災訓練の前段階で、地域の皆さんと相談しているので、そういった席で周知を図りたい。また、今後どのような形で周知するか、検討したい。

## 生涯学習と社会教育、学校教育の連携 公民館とコミュニティセンター

新警田 芥川栄人 議員 (一括質問)

**生涯学習と社会・学校教育**

**【質問】** 担当部局が教育委員会と市長部局に分かれている意図とメリット・デメリットは。

**【答弁】** 現在、市長部局が生涯学習事業を行っているが、人づくり、まちづくりなどの施策と一体的に推進することが、より効果的・効率的と判断している。メリットは、

教育委員会は学校教育に特化した教育を推進でき、生涯学習・社会教育は、文化、芸術スポーツ等にかかる施策を総合的、一体的に進められることである。デメリットは特になが、常に最適な組織体制を検証していく必要がある。

**【質問】** 子どもを地域全体で育てていく上での課題と、解決

のための仕掛けづくりは。

**答弁** 学校と地域が同じ思いと課題を共有し、事業展開することが重要と考えている。地域や保護者等の代表者に、児童・生徒の健全育成等を協議していただいております。地域全体で子どもを育てる機運をより高めていきたい。

**質問** 子育て、教育、福祉等を横断的に担う仕組みは。

**答弁** 特別支援教育、広島平和記念式典への参加等の体験学習において、教育委員会と市長部局が連携をとっている。生まれてから中学卒業まで一体的に受け持つイメージもあるが、まだ先のことと思う。

### 公民館とコミセン

**質問** 今後の地域での活用方法について伺う。

**答弁** 新たな地域の活動拠点として再構築し、地域住民に親しまれ、使い勝手のよい施設に転換したい。年内には、原案を作り進めていきたい。



**質問** 他の生涯学習施設との連携はどうしているのか。

**答弁** 図書館とは継続して連携を図りたい。

## 産業・雇用／行財政改革 子育て支援策

新警田 松野正比呂 議員（一括質問）

### 産業・雇用

**質問** 産業活性化にかける市長の意気込みと雇用の現状は。

**答弁** 新東名高速道路を活用した新たな企業誘致を目指すため、市長が営業マンとして、これまで以上に企業訪問活動を行い、本市の魅力発信に努める。市内中小企業では、雇用の回復に時間がかかると予想される。雇用のミスマッチ

### 行財政改革

**質問** 総人件費管理の状況は。

**答弁** 職員数だけでなく正規嘱託、臨時職員も含めた総人件費を管理している。適正な総人件費管理に努め、毎年の総人件費の公開も考えていく。

**質問** 事業仕分けや仕事の見

直しの考え方は。

**答弁** 各部署で聖域なき事業の見直しに主体的かつ継続的に取り組み、業務の選択と集中を進め、千人体制に向けた適切な事業規模となるよう努めている。

### 子育て支援

**質問** 認証保育園の現状と今後の方向性は。

**答弁** 認可外保育園10園のう

## 子育てと福祉施策の充実を まちづくり／平和事業

日本共産党警田市議団 高梨俊弘 議員（二問一答）

### 子育てと福祉施策

**質問** (仮称) 福田幼保園を公設公営の幼保連携型認定こども園と想定している理由は。

**答弁** 27年4月予定の子ども・子育て支援法施行により、幼稚園・保育園の認定こども園移行が推進されると見込まれている。幼児教育・保育の充実のため、将来的な幼保一体型も含めて幼保連携型認定こども園を考えている。



**質問** 保育所入所枠拡大プロジェクトが計画された経緯、

**答弁** 保育所入所枠拡大プロジェクトが計画された経緯、

**質問** JR新駅設置と区画整

ち7園を25年4月から認証保育園に認定した。うち2園では、制度導入に伴いゼロ歳児保育を開始いただき、待機児童解消の一助になっている。保育者ニーズの高まりやサービスの多様化を望む声にこたえていくため、重要な役割を担っていただけたらと考えている。

**質問** 結婚・子育てから就学までの総合的支援の仕組みは。

**答弁** 結婚・子育てから就学までの総合的支援の仕組みは。

財源、今後の計画は。

**答弁** 早期に待機児童解消を目指すため、プロジェクトを実施する。安心こども基金を活用し、27年4月を目標に待機児童の解消に努めたい。

**質問** 今之浦保育園と水源管理センターの跡地は、市民のために有効活用すべきでは。

**答弁** 市として将来活用する計画がないことを確認し、自治会等にも照会し、協議・調整のうえ売却することとした。

### まちづくり

**質問** JR新駅設置と区画整

**答弁** 親支援や子育て支援は、庁内の各部署に業務が分散しているため、情報の集約を図り、妊娠から子供の就学までの支援を担う一元的な組織体制について検討する。



理の現状と課題は。

**答弁** 新駅は、修正設計等を進め、おおむね順調に進んでいる。区画整理の進捗率は、24年度末で新貝地区が75%、鎌田地区が3%である。課題は、早期の基本協定締結、事業費の低減、財源確保である。

### 平和事業

**質問** 広島平和記念式典に参加した小中学生の平和文集作成についての見解は。

**答弁** 参加者の思いを直接伝えていければと考え、その思いをまとめることを検討する。

**質問** 平和市長会議への出席と、核兵器禁止条約の市民署名活動についての見解は。

**答弁** 会議総会への出席を予定している。署名活動もできる範囲で協力していきたい。

# 総合計画の基本的考え方 「スポーツのまちづくり」に向けて

志政会 草地博昭 議員（一括質問）

## 総合計画

**質問** 人口減少に対する本市の基本的考えを伺う。

**答弁** 全国的な課題で、本市も例外ではないと考えている。

**質問** 人口について長期計画や目標を立てる考えはないか。

**答弁** 若い世代に、市の将来に関心を持ってもらうことは必要と考えており、次期総合計画の策定過程において長期的な人口推計を試算するとともに、就労人口や高齢化率等を示す方法を検討したい。

**質問** 本市の人口減少を食い止めるための方策は。

**答弁** 何より若い世代が子供を生み育てやすく、健やかに子供たちが成長できる環境を整えることが大切だと思う。担当職員や地域で活動する方々の地道な取り組みが口コミ



スポーツのまちづくり  
基本計画

等で広がり、「子育てなら磐田」と評価され、市内外へ周知されていくものと考えている。

## スポーツのまちづくり

**質問** スポーツのまちづくり基本計画の見直しは。

## 渡部市政2期目の諸課題 国の施策と市政の課題

日本共産党磐田市議員 根津康広 議員（二問一答）

### 市政2期目の課題

**質問** 県と連携した防潮堤の整備推進の考え方は。

**答弁** 防潮堤、水門等の施設整備、自転車道のかさ上げを申し入れている。今後は、天童川以東の沿岸4市で連携し、防潮堤の整備など、第4次地震被害想定に対応した対策の早期実施を要望していく。

**質問** 幼稚園、小中学校の耐震化計画の前倒しは。

**答弁** 2校を前倒しで進めている。25年度で幼稚園及び中学校の耐震化は完了し、小学校も26年度末にすべての耐震

**答弁** スポーツのまち磐田を進展させるため、2つのトップリーグチームや幼児スポーツ教育にも熱心な静岡産業大学など、本市の特徴を生かした計画策定を考えている。

**質問** ジュビロ磐田への支援状況と今後の方針は。

**答弁** 小学生一斉観戦などジュビロを生かした事業を通じ、多くの市民がジュビロに

化が完了する。

**質問** 浜岡原発再稼働についての見解と廃炉等への考えは。

**答弁** 市民の安全・安心が確実に担保されない限り、再稼働には賛成できない。永久停止、廃炉については、詳しい知見が得られていないため、方向性の判断はできない。

**質問** 新東名スマートインターチェンジ設置の経過と課



学校耐震化(竜洋北小)

愛着を感じてもらえるよう支援している。今後は長期的ビジョンに立ち、支援の方法を検討する必要がある。

いる。下野部工業団地及び新平山工業団地周辺への企業集積の促進や雇用の拡大など、地域活性化の原動力となる取り組みを進めていきたい。

**質問** 憲法を憲法でなくしてしまふ96条の改憲の見解を。

**答弁** 今の憲法を変える必要があるのか、どこをどう変えるのか、国の将来像とあわせ国民的議論が必要と考える。

**質問** 地域経済の展望を開く施策は。

**答弁** 25年6月に連結許可を受けた。今後、28年度内の供用開始に向け、スピード感を持った対応が必要と認識して

## 空き家対策

### 「21世紀に伝えたい戦争体験」発行

新磐田 虫生時彦 議員（一括質問）

### 空き家対策

**質問** 倒壊の危険がある空き家の所有者に、適正な管理の指導を強化すべきと考えるが、現状と今後の対応を伺う。

**答弁** 現在、自治会等からの相談により、所有者のわからない建物については可能な限り調査を行い、所有者などへ指導を行っている。多くの建

物で協力が得られているため、引き続き同様の指導を行っていききたい。

**質問** 消防署での、空き家の巡回と指導の現状は。

**答弁** 現在、定期的な巡回は実施していないが、自治会や近隣住民から相談があった場合には、火災予防上の観点から、所有者に指導している。

**【質問】** 県内で空き家対策条例制定の動きはあるか。

**【答弁】** 県内で条例化した自治体はない。全国では、24年7月1日時点で、空き家等の適正管理に関する条例等の名称で、73自治体が制定している。

**戦争体験**

**【質問】** 平和推進事業の一環として、広く市民から貴重な戦争体験を募集しては。

**【答弁】** 「21世紀に伝えたい戦争体験」等の戦争体験記録は、平成3年と14年に旧磐田市で作成した。本市では、戦争の悲惨さを広く市民などに知っ



和記念式典 徒の思いをまとめたいことを検討していく。

**遠州灘海岸の防潮堤  
今ノ浦川総合内水対策計画**

きずなの会 太田佳孝 議員（一括質問）

**防潮堤**

**【質問】** 現在の防潮堤は何mの津波高まで耐え得るのか。

**【答弁】** 津波高3・3mから5・1mに対応できるとされるが、県は第4次地震被害想定を受け、津波が堤防を越流しても崩壊しない構造の防潮堤を整備すると伺っている。

**【質問】** 南海トラフ地震の津波高11・8mへの今後の対策は。

ていただくため、被爆パネル展の開催や、小中学校での平和図書購入等を行っているが、中学生が主体であった広島平和記念式典派遣事業に、25年度から新たに小学生を加え実施する。若い世代に戦争の悲惨さや平和の尊さを直接その目で見え、何かを感じ取ってもらうことが重要と考えており、戦争体験談ではなく、広島平和記念式典参加生徒の思いをまとめることを検討していく。

**【答弁】** 第4次地震被害想定を受け、津波避難マニュアルやハザードマップを修正するとともに、必要があればハード整備についても検討していく。

**【質問】** 県は津波対策として防潮堤のかさ上げ等の実施を計画している。県に対する本市としての具体的要望内容は。

**【答弁】** 天竜川以東の沿岸4市で連携し、浜松市と同様に防

潮堤の整備を要望するとともに、自転車道のかさ上げなどによる多重防壁の実施について重ねて要望していきたい。

**今ノ浦川内水対策**

**【質問】** 第4ポンプ場は最大毎秒12トンの排水稼働をするが、稼働時の水位変化の予測は。

**【答弁】** 県のシミュレーションによると、今ノ浦川の河道拡幅整備により、第4ポンプ場を追加して稼働しても、整備前と比べ約20cm水位が低下し、事業実施前より治水効果は改善されるとの結果が出ている。

**【質問】** 大潮の満潮時には、何時間でポンプを停止させなければならぬ事態になるのか。

**【答弁】** ポンプ停止は、原則、河川水位を判断基準とするため、あらかじめ稼働時間を検討することは考えていない。

**【質問】** 運転調整ルールは、どのようなメンバーと作るのか。

**【答弁】** 今ノ浦川・仿僧川の河川管理者である県と、ポンプ場管理者である市の関係課で策定作業を実施している。



建設中の今之浦第4ポンプ場

**「住んで良かった！」と言えるまちづくり  
社会教育／J R新駅設置**

志政会 絹村和弘 議員（一括質問）

**まちづくり**

**【質問】** 市総合計画の基本理念に沿う中で、まちづくりの推進や地域の諸問題を解決する新しい推進体制、拠点づくりの検討は。

**【答弁】** 地域課題を解決するための拠点施設である公民館やコミュニティセンターなどの再構築や、新たな組織づくりを検討していきたい。

**【質問】** シルバー層に出番をつくる施策と、有償ボランティアの概念を導入する考えは。

**【答弁】** 地域活動の中で新たな施策の検討を進め、有償ボランティアの導入を図る方向性は理想的だと認識している。地域の実情が異なる中で、市が一律に進めることは難しいが、検討していく。



**【質問】** 「せいかつ応援倶楽部」を各地区版に発展させるため、地区社協を支援する考えは。

**【答弁】** 支援を要する方への支えの仕組みとして、地区社協版せいかつ応援倶楽部は有効と考えている。市社協とも協力し、実現可能で継続性のある活動は支援していきたい。

**社会教育**

**【質問】** 現代社会における社会教育の必要性について見解を。

**【答弁】** 社会教育は、特に社会の変化への対応や地域の課題解決に向けて必要不可欠と考える。今後は地域づくりや人づくり、市民が地域に根ざした活動を行う環境づくりに等しい。等に重点的に取り組んでいきたい。

**J R新駅**

**【質問】** J R新駅設置に向けての今後の見通しと課題は。

**【答弁】** 新駅設置は、周辺の開発状況、旅客需要を勘案してJ Rが判断することになっており、現段階では明確になっていない。課題は、早期の基本協定締結や財源確保、区画整理事業の推進と考えている。

# 磐田の「まちづくり」

新磐田 芦川和美 議員（一括質問）

## 福田漁港・豊浜海岸／子どもの通学路

### まちづくり

**質問** 「温もりのあるまち磐田」についての具体策は。

**答弁** これまでの取り組みに加え、防災、医療、福祉、子育て教育に重点を置き、発達障害への早期対応や本市初の認定こども園など、新たな取り組みに挑戦していきたい。

**質問** ゆるキャラ「しっぺい」と本市を直結してイメージできるアピールの工夫としては。

**答弁** しっぺいの役割は、本市を知ってもらうことである。しっぺいがいる本市が市民の自慢になること等を念頭に、PR活動をしている。オール磐田を浸透させるキャラクターとして活用していきたい。

### 福田漁港・豊浜海岸

**質問** 食の拠点整備のほかに、漁港を生かしたまちづくりの具体的なア



漁師のどんぶり屋

### イデアは。

**答弁** 現在のところ、食の拠点づくり事業を推進する中で、市内全域に経済的な波及効果をもたらす方法を、地域住民や事業者と検討していきたい。

## 子育て・保育 行政の諸課題

日本共産党磐田市議員 稲垣あや子 議員（二問一答）

### 子育て・保育

**質問** 保育士確保と待遇改善策は。

**答弁** 民間保育園は保育士等処遇改善臨時特例事業により、処遇改善に努めていく。公立保育園はフルタイム勤務の臨時職員



読み聞かせをしている保育士

の嘱託職員への昇格を進め、処遇改善による安定した保育士確保に努めていく。

**質問** 子ども・子育て支援制度の準備状況と課題は。

**質問** 海岸植物の保護等のため、豊浜海岸砂浜への車両進入規制を県に要望する考えは。

**答弁** 本市の海岸が属する県立自然公園内の車両乗り入れ規制は、県条例で相良海岸のみが対象である。豊浜海岸も、海岸砂浜の利用状況や侵食状況、動植物の生息状況等を把握し、将来的な規制の必要性を県等と協議・研究していく。

**答弁** 6月議会に子ども・子育て会議条例を提案した。また、子ども・子育て支援事業計画の策定を26年度に予定し、基礎となるニーズ調査を準備している。課題は、

保育園の定員増を図ってきたが、待機児童が解消しないことである。新制度でも市の保育の実施義務は後退しない認識である。

**質問** 児童虐待・DVの現状と課題は。

**答弁** 児童虐待は、24年度に20件あり、課題は市民が行政機関等への通告をためらい、

### 通学路

**質問** (仮称) 福田幼保育園建設予定地周辺の通学路の見直しや、安全対策を伺う。

**答弁** 登下校時の車の台数や児童の動きなどを確認し、福田小学校と安全対策について協議をし、東側南北水路への歩道設置等を計画している。通学路の見直しは、小学校とも連携し検討する。

**質問** ケアハウス等の入所者対応が遅れることである。DVは、一時保護が4件あり、課題は一時保護所から退所した被害者の生活再建等である。

### 行政課題

## 防災、環境施策 子育て、教育施策

公明党磐田 鈴木喜文 議員（二問一答）

### 防災、環境

**質問** 災害時の避難所や仮設住宅のペット対策は。

**答弁** 避難所運営会議等を通じて、避難生活者の理解が得られるルールづくりを考えたい。

**質問** 若者向けに、ごみ減量のためのスマートフォンアプリケーション導入は。

**答弁** 啓発方法の一つとして、

もタクシー券の交付対象にすべきと考えるが見解は。

**答弁** ケアハウスは入所施設のため助成対象外となる。今後在宅介護者等の経済的負担の軽減を優先したい。

**質問** 時間外診療を、こども医療費助成制度の対象とした場合の影響額は。

**答弁** 市立総合病院と急患センターの受診実績から、年額520万円と想定している。不要不急の受診増加による医療機関の疲弊を防止し、真に緊急診療が必要な受診者が優先されるよう、時間外診療は助成対象外としている。

今後、先進地の利用状況や効果などを検討したい。

### 子育て、教育

**質問** スマートフォンに母子手帳機能を導入する考えは。

**答弁** 今後、先進地の情報収集に努めていく。

**質問** 子育て応援メールマガジンを配信し、母子の状態に合わせて助言していく考えは。



**【答弁】** 現在、いわたホッと工房で子育て情報を配信しているが、先進事例の情報収集もしていく。

**【質問】** 建設予定の（仮称）福田幼稚園の屋上に避難場所を設置しないことに、地域住民等の理解は得られているか。

**【答弁】** 進捗状況は、自治会連合会福田支部の役員会等に報告しているが、屋上避難施設設置の意見等はないので、理解いただいていると認識している。今後出される第4次被害想定で市の想定以上のものが出なければ、今の計画で



中央図書館

学校の連携等を進め、運営のあり方も含め図書館協議会で意見を求めながら、研究・検討したい。

よいと思っている。

**【質問】** 佐賀県武雄市の図書館の民間委託、貸出以外の販売テナント事業などをどう捉えているか。また、今後の市立図書館の方向性は。

**【答弁】** にぎわいの創出として注目点はあるが、図書館本来の役割からは課題もあると考える。今後は、図書館サービ

### 安全なまちづくり 英語教育／道徳教育

志政会 高田正人 議員（一括質問）

#### 安全

**【質問】** 洪水対策として、河川内のしゅんせつ等、維持管理の状況は。

**【答弁】** 普通河川等については、自治会要望や必要性を考察する中で、適宜河川のしゅんせつ等を実施している。二級河川についても、管理者である県に未整備区間の河川改修の要望とあわせ、適正な維持管

理を強く働きかけている。

**【質問】** 子供の安全な遊び場確保のための防犯対策を伺う。

**【答弁】** 地域の皆さんの目が届きやすい施設環境の整備と、見守り活動が一番と考える。

**【質問】** 不審者情報の多い場所へ防犯カメラ設置の考えは。

**【答弁】** 犯罪の抑制に効果があるので、プライバシー保護に十分配慮し、必要に応じて設

置を検討する。

#### 英語教育

**【質問】** 小中学校の英語教育の方針について伺う。

**【答弁】** 中学校卒業時には、ゆっくりであれば英語を聞いたり、話したりする力をつけることを目標としている。小学校教育から段階的に取り組むことが必要と考える。

#### 道徳教育

**【質問】** 小中学校の道徳教育の取り組み状況と課題、対策は。

**【答弁】** 毎年度、学校ごと、学級ごとに道徳指導計画を立て、週一回の授業を行っている。課題は、子供たちの規範意識や自尊心を高めることで、道徳教育推進教師を中心とした校内の研修などにより、効果的な指導方法を取り入れるなど、授業を改善している。

**【質問】** 二宮尊徳の報徳思想を道徳教育に取り入れる考えは。

**【答弁】** 報徳思想は道徳教育の内容にも含まれており、道徳教育の推進が、心豊かな市民の育成につながると考える。



二宮金次郎像

## 子ども・子育て会議条例を可決

これは、子ども・子育て支援法の規定に基づき、今後策定が予定される子ども・子育て支援事業計画の策定や、子ども・子育て支援に関する施策の総合的、計画的な推進等について意見を聞くため、新たに制定するものです。

主な内容は、会議の設置や会議の所掌事務、委員を子供保護者等で組織するなどの会議の組織に関する規定、会議の運営方法を定めるものです。

### 全会一致により可決。

#### 討論

子供のため十分議論を  
意見の施策反映が必要

**【賛成（共）】** 子ども・子育て関連法は、多くの国民が反対し、問題点が多々指摘されてきた。国の新制度では、保育供給が市場に委ねられ、保育に格差が持ち込まれてしまい、子供の発達に侵害されるなどの懸念がある。また、地域における公立保育所の役割が軽視され、公立施設の民営化や

統廃合が促進される危険性がある。さらに、財源が消費税増税を前提にしている制度は問題で、改めるべきである。

この会議は子ども・子育て支援事業計画の策定等について、意見を聞くための会議との説明であった。委員は専門家や保育・幼稚園関係者、保護者からなり、一般公募もされることだが、ただ意見を聞くだけでなく、子供たちのために何が必要なのかを十分議論し、会議としてまとめられた意見等を市の施策や事業に反映させることが必要だと考える。こうした点を申し上げ、賛成する。



#### 議会推薦の農業委員

加藤文重  
加藤治吉  
増田暢之

# 議会報告会を開催します

市議会は、市民に開かれた議会を目指して、議会報告会を開催します。どの会場にも、ご参加いただけますので、お気軽にお出かけください。

**開催日** 25年10月26日(土)

**会場及び時間**

地区	会場	時間
南部	福田農村環境改善センター (大会議室)	午前10:00～ 午前11:30
中部	磐田市豊田支所 (大会議室)	午後 1:30～ 午後 3:00
北部	磐田市豊岡支所 (第1会議室)	午後 5:00～ 午後 6:30

**内容**

- ①議会報告
- ②参加者との意見交換



▲24年度の議会報告会

**問合せ** 議会事務局：電話 0538-37-4822 ファックス 0538-37-4845

## 審議結果

■全会一致により可決・同意された議案

- (1) 25年度一般会計補正予算(第2号)
- (2) 職員定数条例の一部改正
- (3) 25年度一般会計補正予算(第3号)
- (4) 子ども・子育て会議条例の制定
- (5) 磐田都市計画下野部地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の制定
- (6) ホームヘルパー等派遣手数料徴収条例の一部改正
- (7) 水道事業の設置等に関する条例の一部改正
- (8) 土地の取得
- (9) 財産の取得
- (10) 人権擁護委員の候補者推薦の意見

■そのほか本会議で議題となった案件

- (1) 農業委員会委員の推薦
- (2) 閉会中の継続調査
- (3) 市議会議員の派遣

## 9月定例会の予定

— 9月2日～10月10日(39日間) —

日程は変更する場合がありますので、事前に議会事務局(電話 0538-37-4822、ファックス 0538-37-4845)までお問い合わせください。

- 9月 2日 本会議(先議議案の上程、説明)  
予算委員会・常任委員会
  - 3日 本会議(決算・一般議案等の上程、説明)
  - 4日 予算委員会・常任委員会(審査予備日)
  - 10日 本会議(先議議案の採決)
  - 11日 本会議(一般質問)
  - 12日 本会議(一般質問)
  - 13日 本会議(一般質問)
  - 17日 本会議(一般質問予備日)
  - 18日 本会議(議案に対する質疑)
  - 19日 本会議(議案に対する質疑)  
予算委員会
  - 20日 特別委員会
  - 24日 特別委員会
  - 25日 特別委員会(審査予備日)
  - 26日 分科会・常任委員会
  - 27日 分科会・常任委員会
  - 30日 分科会・常任委員会(審査予備日)
  - 10月 4日 予算委員会
  - 10日 本会議(議案の採決)
- ※いずれも午前10時から

### 編集後記

今定例会では、新人議員8名全員を含む14名が一般質問を行いました。新人議員にとっては、初めての一般質問となりましたが、緊張感とともに、それぞれの意気込みが感じられるものでした。改めて、初心を忘れず、市政の課題に取り組み、いくことを決意しました。